

0032

0031

號

一

第

(裁決) 行決
覽 回 後

帶

(部)

保存

書記官

北主

次及承認函

所屬高教中不足ノモノアリ
整備課休養ノ上リニ付
以候結了ス



2800

號

北支

書記官 回付(決行前)

(決行後)

審案
筆記者

陸軍

臨時審案三六號

起元應(課名)

雲

課

本

部

件名
勅令ノ件

保存期限

決裁指定

行指定

大臣



政務次官 次官 官



參與官 高級副官 主務局長



書記官 主務 副官 主務局長



書記官



主務局長 大臣官房

受領 提出 受領 了結

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日 昭和十一年七月十一日

帶

長(部)局

兵器

兵務

軍務

人事

航本

法務

醫務

經理

長

課

恩賞

徵募

補任

戰備

馬政

兵務

軍務

軍事

衣糧

防備

主計

銃砲

建築

監査

醫事

機械

航本

法務

衛生

(裁決)行決後
覽回後

長(部)局

長

課

長

課

長

課

長

課

長

課

長

課

長

課

長

0033

陸軍機密

参謀總長へ回答案

首題ノ件ニ付本月十一日附参謀部第一

五

聯第一照會ノ趣具存ナ

シ

陸軍機密第二十六號

昭和十二年七月十一日



動員部隊

第二十師團、同留守部隊、應急動員
動員第一日ハ七月十三日トス

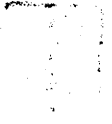
0035

連 帶 課	決裁指定	件 名	
各局課 参考ノ爲ニ他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス	連 帶 印 長 局	動員下令ノ件	連 帶 票 戦備 御 中
	課 長 		
	連 帶 還 付 期 限 七月十一日 日 迄		

9800

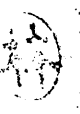
連帶票	七月十一日			
補任	徵募	恩賞	御中	整備課
名 件		動員下令ノ件		
決裁指定		連帶印	局長	課長
連帶課		各局課		
備考ノ爲能ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス				
連帶票付期限		七月十一日		

0037

連帶課	決裁指定	件名	
各局課	連帶印	勅令下件	連帶票
	局長  課長 		軍務 御中
	連帶票付期限 七月十一日		整備課

備考ノ爲ニ連帶課名ヲ記入スルモノトス

8800

連帶課	決裁指定	件名	
各局課 参考ノ爲メノ連帶課名ヲ記入スルモノトス	連帶印 局長 	勅員下令ノ件	兵務 防備 馬政 御中
	課長 		整備課
	連帶印 七月十一日 立		七月十一日

6800

連帶課	決裁指定	件名	
各局課 参考ノ爲ニ他ノ連帶課名ヲ記入スルモノナシ	連帶印 局長  課長 	勅令下ノ件	銃砲 機械 御中
	連帶連付期限 七月十一日迄		連帶票 七月十一日 整備課

0040

連 帶 票 七月十一日	主計 監査 衣糧 建繕 中 整備課	件 名 勅 員 下 令 ノ 件	決裁指定 印 帶 連 長 局 代 長 連 帶 票 付 期 限 七月十一日 日迄	連 帶 課 各 局 課 参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモ
-------------------------------------	---	---	---	---

0041

連帶課	決裁指定	件名	
各局課 参考ノ件ハ他ノ連帶課名ヲ記入スルモトス	連帶 局長  課長 	勤員下令ノ件	連帶課 衛生 警事 御中
	連帶 付期限 七月十一日 日定		七月十一日 整備課

0042

連帶課	決裁指定	件名	
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス 各局課	連帶印 局長 	動員下令ノ件	連帶票 航本 御中
	課長 		整備課 七月十一日
	連帶票付期限 七月十一日 日迄		

0043

連 帶 課	決 裁 指 定	件 名	
各 局 課 参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス	連 帶 印 局 長 	動 員 下 令 ノ 件	法務 御 中
	課 長 		
	連 帶 還 付 期 限 七 月 十 一 日 迄		七 月 十 一 日 整 備 課

軍事機密

陸軍機密第三六番

陸軍

參謀本部 陸軍機密第一五號第一

勅員下令ノ件貽會

昭和拾貳年七月拾壹日

參謀總長 載仁親王



陸軍大臣 杉山元

別紙部隊ノ應急勅員ヲ實施致度異
存無クハ 允裁ヲ仰クヘシ

追而勅員第一日ハ七月十三日ト致度

0044

別紙

應急動員部隊

第二十師團(第二十師團長管理)

同留守部隊(第二十師團長管理)

陸海軍第三〇二號 昭和十二年七月十一日

勅令 下合、件 通際

次發育衆議院書記長

左記通際勅令ヲ令セラレタニ付通際ニ

左記

應即一

應急勅令

即平歸告即五勅令ニ付、上ラ合ス勅令
即一日、七月十三日ナリ

昭和十二年七月十一日午後十時四十分

陸軍大臣

秘

0047

陸軍

陸海密第三一一號

動員下令ノ件通牒

昭和十二年七月十一日 陸軍次官 梅津美治郎

衆議院書記官長 田口弼一殿

左記ノ通應急動員ヲ令セラレタルニ付通牒ス

左記

應第一號

應急動員令

第二十師團第五動員二號ノ上ヲ令ス動員第一日ハ七月十三日ナリ
昭和十二年七月十一日午後十一時四十分

陸軍大臣

(小林又七印行)

陸軍

第二十師團長、朝鮮軍司令官へ傳達案（電報）

第一

勅ヲ奉シ第二十師團第五動員二號ノ上ヲ令ス、動員第一日ハ七月十三日、**十一日**陸軍大臣

昭和十二年七月十一日

各師團長

近衛師團ヲ除ク

第二、第四、第十二師團留守司令官、

關東、臺灣軍司令官、支那駐屯軍司令官へ傳達案（電報）

第一

昭和十二年七月十一日

（第二十師團長へノモノニ同シ）

近衛師團長、第一師團留守司令官、航空兵團長、元帥、
軍事參議官、參謀總長、教育總監、東京衛備司令官、侍
從武官長、省內各局長、憲兵司令官、陸軍針堡本部長、
陸軍技術本部長、築城部本部長、軍馬補充部本部長、陸

陸軍

軍兵務本廠長、陸軍造兵廠長官、陸軍衛生材料廠長、陸軍被服本廠長、陸軍糧秣本廠長、陸軍經理學校長、陸軍軍醫學校長、陸軍獸醫學校長、千代田製絨所長へ傳達案

應第一號

應 急 動 員 令

第二十師團第五動員二號ノ上ヲ令ス、動員第一日ハ七月十三日ナ

リ

昭和十二年七月十一日午後十一時四十分

奉 勅

陸軍大臣 照会

昭和十二年七月十一日

内閣總理大臣、福祿院議長、各省大臣、會計検査院長、貴族院兩院議長、朝鮮總督、臺灣總督、滿洲駐劄特命全權大使へ通報案 總理大臣へ報告トス

應第一號



0051

外内大指文
司農高連
後杯宮
皇太后院漢書ナシ

勅令

第二十條、同條守部隊ノ應急勤員ヲ令セラルル勤員第一日ハ七月十三日ナリ

昭和十二年七月十一日 鈴木 首相

陸軍省 第三三三號

昭和十二年七月十一日

參謀本部
臨參書第一三號第一

三六



陸軍

動員下令御裁可、件一通見

昭和拾貳年七月拾壹日

參謀總長 載仁親

陸軍大臣 杉山元 殿

應急勅員下令、件別紙、通リ御裁

可アリシニ付通牒ス

追而御裁可書ハ用濟後返戾アリ度

陸機密第八四號

昭和十一年七月十二日

(決行後)

審案
筆記者

陸軍

陸海機密

副官より関東軍参謀長へ通牒条(暗電電報)

第六四八號返年細部九十條に依る今回ノ部二十師團
應急動員部隊に對スル運搬機關等ハ責任ニ於テ
整備セサル如ク處置セラレ度

迄テ主任者ニハ連絡済

今中

陸海機密電

九

昭和拾貳年七月拾五



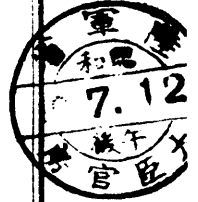


至急

満機

三六

三三



第 號



軍

電報譯

七月二日 午前午後二時一分著

次次 長官 宛

發信者 関東軍參謀長

第六四八號

年細第九十條ニ依リ第二十師團
應急動員部隊ニ對スル行李運
搬機關等ハ関東軍司令官ノ指揮
下ニ入ラサルニ當テ軍司令官整備ニ
ルニト解シ處置アリ、為念

閱



陸軍

補任



4500

陸軍第三十六師第三三連



參同文

平文電報譯

七月十五日 午前午後 五時三十分 發著

大臣宛 發信者 第二十師團長

第一號

留守師團長深澤中將 本月十五日 著任ス



陸軍第三十六師第三三連

陸



0058

大入

カ

三三三 リウサン ニ三一 四時〇分

リクタン イジン

ムヨ 同文

中村 幸子

若佐 人

ニソウテウ

(ルアト) フカサ ワヘチエキホコフ一五ヒチウメ) ニ〇シイコ

ワケ



北支

審案
筆記者

陸
軍

0900

上奏案

左記ノ通第一期應急動員完結ス

七月十五日 第二十師團

右謹テ上奏ス

昭和二年七月十六日



説明

第二十師團ノ應急動員ノ完結日數ハ指定ナク第二十師團ニ於テハ現役人馬及在郷在郷人員及徵用馬匹ヲ以テ第一期應急動員ヲ完結シ定期除隊者中内地帰還者（現在ハ一年半在營ノ帰休者アリ）ヲ以テ第二期應急動員ヲ完結スル如ク計畫シ在リ右ノ第一期應急動員ハ動員係三日ニ完結シ第二期應急動員ハ應急動員係十日完結スル如ク計畫シ在リ尚留守部ノ應急動員ノ完結ハ動員係六日ナリ

軍事

12

整備

機

三六三二

電報譯

七月十日午前六時五分發

降ろす

宛

發信者

二〇師團

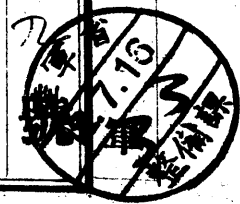
二十師團四五十五日同時第二〇師團第五動員第二號、係第一期完結ス又特從武官ヲ免遣サレ優握ナル聖旨ヲ賜、師團將大ニ感激ニ越ス大ニ上ル

編譯者



第

陸



ニ〇レオウ田五、一五ヒコ 田ジ ヲ イニ〇シタ ンタ イ五ド ウインニゴ ウノゼ
 ヲヂ イ一^キカ^キンケツス、マタシ シ ヲフ カンササシツカハサレユウアタナルゼイ
 シヲタマワリシタ ンセウハイード ウカンザ キレ^キ^キオイエアガ ル、ニ〇シタ ン

至急言 一二六中 リウサン 二七四 六時五四分
リクク ンダイジン
ウナムヨ 急 同文 二

二



閱

大

次官

0064

瑞穂第三三三三



第七九號

陸軍

電報譯

七月十六日午前四時十分發

陸軍大臣宛 發信者 第三十師団長

諸準備整ヒ今十六日出発ス御高配
謝ス

陸軍電信著信紙 9005

注意

受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
受付時刻ノ表示中「ヨ」トアルハ午前「ラ」トアルハ午後ヲ示ス

陸軍省

文	本	定指	受信氏名	局發	局著
	シヨジ ユンビ トトナイイマー六ヒシツパ	ムヨ	リクグンダイジン	官 四ニ字 ケイゼ ウエキ 一九七 〇四時一〇分	八六 通過番號
	ツス、ゴ コウハイオシヤス、ニ〇シイ	事記			午後三時一〇分 受信時刻
		三	ジ テウー		技手 タ
		ジ カン一			著信番號

日 附 印

陸軍省 12.7.16 有線電信所

9900

印刷
三三

満機

三六三三

昭和
12.7.1
午前
陸軍

陸軍



電報譯

七月二日 午前八時一五分 著
午後七時一五分 著

陸軍省別官宛

發信者 第千師團留守務課長

第〇號

飛行隊之交待中 諸勤務令ハ本十〇日
受領セリ 手配ヲ謝ス

關
滿鐵第三十三號其三八

7.1
午後五時

陸

陸軍省
12.7.17
第五號
秘記課

秘

電報譯

七月十七日午前四時三十分發
午後五時

次
宛
發信者
茅大帥田參謀長

第四四九號

十七日應急動員用彈藥ノ調製ヲ終ル

終



歐陽文忠公集
 卷一百一十五
 書
 歐陽文忠公集
 卷一百一十五
 書

陸支機密電

副官ヨリ留守第二十師團參謀長(電報案)(暗號)

貴師團長報告ニ依レハ第二十師團第五動員二

號ノ上ハ全部完結シアルヲ以テ貴師團年度動員

計畫令ノ第二期應急動員ヲ繰上ケ完結セル

如ク解ヤラル上奏ノ關係モアリ第二期應急動

員完結ノ關係ヲ明ニセラレ度

陸軍省
送達
陸支機密電

昭和十二年七月十九日

常務通機第三十六號

極秘第九號

電報

大臣
總長

宛

昭和一一、七、一八
第二十師團留守師團長

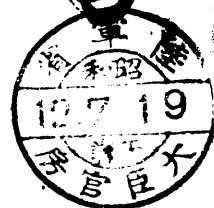
動員完結ノ件報告

常設師團及留守隊共七月十八日

一司令官、〇ヤ第二十師團第五動員二

号ノ上ノ完結ヲ終ル

七、一八 右
四、一五分
五、二七分 著



1200
3

ルヲ得タル次第ナリ

七、ノ九後二〇、五〇〇番

今日ハ六月九日除隊者ノミニシテ一輸送船ヲ以テ
輸送シ得タル結果十月三十日除隊者ヲ有スル
場合ノ完結日九日(最大場合)ニ比シ速ニ完了ス

大臣 宛
總長

第三師團留守師團長

電報

昭和一ニ七、二〇

國務
常務
第六九號
三ノ四



電報夜間勤務班

(宿直)

極秘 支參第一二五號

昭和一二、七、一四

電報

次官 次長 宛

支那駐屯軍參謀長

2200

平津地方ニ於テ地方輸送機關徵集及編
成至難ナル狀況ナリ關東軍ヨリ派遣セ
ラルアル部隊ニ對シテハ之ヲ應急動員
トスル様至急取計ハレ度

中電機・湯心

七、一三、八五、五五、五〇 着

[REDACTED]

アジア歴史資料センター

上奏案

左記ノ通應急動員完結ス

七月十八日 第二十師團同留守部隊

右謹テ上奏ス

昭和二年七月廿三日

説明

第三十師團第二期應急動員ハ動員第十日先結ノ
 處除隊後内地歸還者寡少（一年半在營者ノミナル
 ヲ以テ十月除隊者、約四割）ナリシ爲其ノ輸送速
 ニ先了セルヲ以テ豫定ヲ繰上ケ動員第六日ニ動
 員ヲ先結シタルモノナリ

陸軍

本説明ハ侍從武
 カレ度

11

十
九

速速

二
動

本說明ハ侍從武官ニ充テ置
カシ度

9200

2200

保存期限	永久	決裁指定	局長委任	決行指定
------	----	------	------	------

政務次官 同付 決裁前連署 署長 許重登 決行(決裁)後 同覽 課名		受 番 號 領 海軍第三十六號其四二 起元庫(課)名 留年第三十師團		件 名 軍馬寄附ニ關スル件		大臣 陸 軍	
大官臣房 了結 領受 昭和 年 月 日 昭和 年 月 日		主務局課 出提 領受 昭和 年 月 日 昭和十二年七月廿一日		番 號 馬政申第一五一號		局長 主務 次官 政務 次官 參贊官 書記官 審 案 審 記 者	
(裁決)行決 覽 回 後 長 局		帶 連 長 局		主務 課長 高級 副官 主務 副官 主務 課員		主務 課長 主務 課員	
長 課 監主 軍 査計 事		長 課 監主 軍 査計 事		主務 課長 主務 課員		主務 課長 主務 課員	

副官ヨリ留守第千師團長宛

陸支普電

七月十九日附電報申請ノ軍馬寄附ノ件認可

セラル 追テ正式書類提出相成度

陸軍省 陸支普電

五

昭和十二年七月

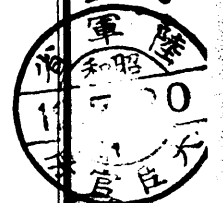
陸支普電

6200

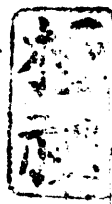


満鉄

第三〇二四二



陸軍



電報譯

七月一日 午前七時三十分發

大

臣宛

發信者

留并第三十師團長

第一號

徵發馬匹中三頭獻納申出アリ當師團ニ配屬ヲ認
可アリ度

0800

補任

整備

至急

軍事機密

三 参動第五〇六號

應急動員完結ノ件報告

昭和十二年七月廿日 第三師團長 伊 東 政 喜

陸軍大臣 杉 山 元 殿

左記部隊ノ應急動員完結セシニ付陸軍動員計畫令第百七十條ニ依
リ該部隊ノ將校同相當官職員表、人員一覽表及動員完結日一覽表
別紙ノ通報告ス

左 記

第三師團第一乃至第三野戰高射砲隊

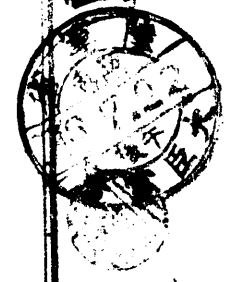
飛行第三大隊第一中隊

飛行第五大隊第一中隊

飛行第六大隊第一中隊

陸軍大臣 杉山元 殿
七月廿四日 伊東政喜 謹啓

陸軍大臣 杉山元 殿
七月廿四日 伊東政喜 謹啓



田島

陸



整備

一六師參勤第三一號

動員實施ニ關スル書類呈出ニ關スル件報告

昭和十二年七月二十二日

第十六師團團長 兒玉友

陸軍大臣 杉山 元 殿

陸軍動員計畫令第七十條故同細則第四百六十四條ニ基テ首題ノ書類別紙ノ通報告ス

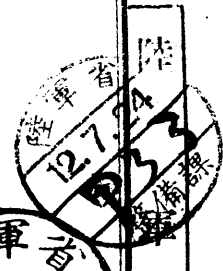
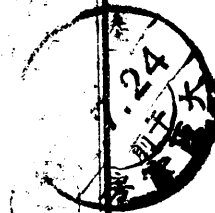
別紙 目錄

第十六師團管理動員部股動員完結日数一覽表

將校(各部將校)職員表

同

人馬一覽表



第十一師團 陸動第一〇九號
司令 部

勅員部設職員表等ノ件報告

昭和十二年七月廿二日 第十一師團長 多田

陸軍大臣 杉山 元 殿

當師團管理勅員部設タル七號兵站病馬廠ノ職員表、人員一覽表及
勅員完結日表別紙目錄ノ通呈出ス

職員表
七月廿二日

陸軍
12.7.26
190
補任課

陸軍大臣
杉山 元

12.7.26
33
整備課

7.24
大

8800

書類目録

第十一師團

七號兵站病院馬廠將校職員表



部

第十一師團人員一覽表（七號兵站病院馬廠ノ部）



部

勳員擔任部隊定員外人員一覽表



部

勳員部隊完結日表



部

陸軍

170

補任

補任

十 九 九 八 七 六 五 四 三 二 一 號

將校職員表人馬一覽表完結數一覽表呈出、件報告

昭和拾貳年七月廿五日

第十師團長 廣谷 廉 介

陸軍大臣 杉山 元 殿

陸軍動員計畫令第百七十條ニ據ル首題ノ件左記ノ

通呈出ス

左 記

一 將校職員表

貳

(野戦電信第三、第三、第三土中隊
第四十二乃至第四十八停車場司令部)

一 人馬一覽表

貳

(同 右)

一 完結日数一覽表

壹

七月十八日 補任

陸軍省
12.7.27
補任課

陸軍省
12.7.27
補任課

軍事機密性紙第三六 第三四九

奉勅第五五號

將校職員表、人馬一覽表、動員完結日數一覽表提出ノ件
昭和十二年七月二十六日 第十四師團長土肥原賢二

陸軍大臣杉山 元殿

今次動員ヲ令セラレタル動員部隊ニ對スル首題ノ書類
陸軍動員計畫令第百七十條ニ據リ左記ノ通提出ス

記

第十四師團動員部隊將校職員表

第十四師團人馬一覽表

第十四師團動員部隊動員完結日數一覽表

各三部

別表各一部
七月廿七日 整備課

職員表
七月廿七日 補任課

陸軍

補任
整備
防務

陸軍大臣 杉山 元

第二〇四師第七八團

將校職員表換開ノ件報告

昭和十七年八月五日 陸軍第二〇四師長 藤澤 友房

陸軍大臣 杉山 元

第二十師團司令部員將校職員表陸軍職員計畫令第七十條ニ據り

書ス

連ノ人員一覽表、明細書發送ス

職責表
八月六日 市任 課

陸軍省
陸軍部
陸軍第二〇四師

陸軍省
陸軍部
陸軍第二〇四師

閱

軍事機密

留二師動第八四號

人馬一覽表

樺太、牛久保、生野、吉野、

昭和拾貳年八月四日

留守第二十師團長深澤友雄



陸軍大臣 杉山 元殿

第二十師團應急動員ニ於ケル常設
師團人馬一覽表陸軍動員員計畫圖
全第百七十條ニ據リ別紙ニ通リ
報告ス



8800

留三師參勤第一二三號

人馬一覽表提出、件報告

昭和拾貳年八月八日

留守第二十師團長深澤友彦

陸軍大臣 杉山 元殿

第二十師團應急動員ニ於ケル留守部隊、人馬一覽表陸軍動員計畫命令第百七十條ニ據リ別紙直報告ス

八月九日 整備部

陸軍

6800

補任

整備

補任 第三六八三

第二十師動第一四四號

第三十師團應急動員留守部隊職員表

訂正ノ件報告

昭和拾貳年八月拾貳日

留守第二十師團長 澤澤友彦

陸軍大臣 杉山 元股

八月三日留ニ。師動第七八號ヲ以テ報告セシ
首題ノ職員表中野砲兵第二十六隊隊補
充隊中隊附豫備役少尉中根末治ヲ削除
シ豫備役少尉中谷 蔚ヲ加入セシニ付報告
ス

職員表
日補任課

和昭 12.8.13

第二十師團

陸軍省 12.8.13

12.8.15 補任課

0600

整備
光

大 長
總 長

宛

第二十師團長

極秘 第三一號親展
電報

昭和一二、七、一四

務 務機

三六

三八

和昭
12.7.14
午前
武官

印

軍省
12.7.14.
33
整備課

當師團動員第一日迄ノ業務ハ順調ニ進
捗セリ豫定ノ如ク出發シ得ル見込

七、一四、前
二五三七
着

ス

次官

閣

大臣

寺倉

憲第三六

極秘

参同文

電報譯

七月十六日 午前午後三時三十分發

大臣宛 發信者第二十師團長

第 號

師團、鐵道輸送ハ豫定ノ如ク昨夜半ヨリ
開始シ各地部隊共順調ニ進拂レ未タ何等
ノ故障ナク志氣旺盛ナリハ舞民ノ熱意
益々盛ニレテ何等後顧ノ憂ナシ

昭和十六年七月十六日 午後三時三十分 官臣

陸

省軍 12.7.18 33 陸軍

88 5-54 / 2600

整備

軍

後

大官

大臣

第... 第三...

平文電報譯

七月一五日午前午後一時五十分發

陸軍大臣宛 發信者 第二十師團長

第 號

第二日迄、動員業務概不順調ニ進捗シ第四日早朝

豫定ノ如ク出發シ得ル見込

停

前日即リ 十三日

242

陸軍省 12.7.15 軍事部

陸軍省 12.7.15 海軍省

陸軍省 12.7.17 33 補

陸

二五

官セ三 リウサン ハ〇 セー〇 時二八分

リクグン ダイジン

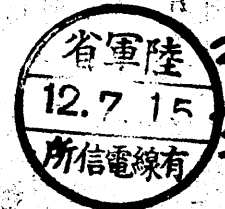
ムヨ

同文

ニ、ソウテウー

ダイニヒマテ ノド ウインゲ ウムヲ、ムネジ ユンチヨウニシンシヨウシダイ

ヒソウチヨウヨテイノゴ トクシユツパ ツシウルミコニ〇シイコ



0094

海機部三三三

51 41
52 42
53

31
32

35 23
36
37
38 15
28

45
46
47
48
49
50

30

40

調査員不明見当なく返却
付録 相次
名簿中

整備課

陸軍

(日本標準規格 B-5)

0095

本件関係書類
一括に置き用済
追て返却不能ナル
課御

軍

(日本標準規格 B-5)

5600

本件關係書類
一括し置き用済返戻相成度
追々返却不能ナル於テハ保管ノ旨記入相成度

課御中

陸軍大臣官房